

# 福井森林管理署

担当者  
森林技術指導官: 河原正二  
地域林政調整官: 北本秀一  
TEL: 050-3160-6105

- ▶ 福井県の森林は、石川、岐阜、滋賀、京都の4府県との県境に多く分布しており、県土の75% (312千ha) が森林であり、このうち国有林は37千haあります。  
民有林の人工林面積は118千haで、人工林率が43%と全国平均46%とほぼ同水準にありますが、人工林面積のうち、約8割の森林が間伐対象林分(スギ)であり、森林整備が必要となっています。  
一方、国有林は奥地脊梁地帯に多く分布しており、人工林率は17%と低く、保安林、国立公園、県立公園などに指定され、国土保全、水源かん養等の公益的機能の発揮に寄与しています。
- ▶ 福井県との地域林政連絡会議では、森林共同施業団地の設定、民有林への列状間伐の普及、民有林と連携した路網整備について、平成25年度の地域課題の解決に向けた取組の総括を行い、平成26年度の取組に向けて連絡調整を行いました。  
また、福井県からは、木質バイオマス発電所への間伐材供給体制の協力、獣害対策等について説明を受け、民国連携の取組に向けて意見交換を行いました。なお、本年度第2回目の同会議においては平成26年度の総括と平成27年度に向けて、福井県と各種検討会や技術開発に関する協力体制強化について意見交換を行い両者で確認しました。
- ▶ 国有林が所在する市町の地域課題や共通課題について、鳥獣被害対策協議会等の各種会議を利用して幅広い情報収集を行い、おい町において、ニホンジカの個体数管理について取組を実施しました。



(福井県との地域林政連絡会議の様子)

## 林産物の安定供給

- 【課題】木質バイオマス発電所(建設中)への間伐材等の供給対策(新規)
- 【取組状況】
  - ・福井県木質バイオマス燃料安定供給協議会へ参画し、各地域に設置されたストックヤードへの木質バイオマスの納入実績と進捗状況に係る情報を共有。
  - ・福井県公的森林間伐材等安定供給協議会に参画し、林産物の安定供給に向けて情報交換を実施。
  - ・官行造林地の立木資源について、木質バイオマスへの活用を関係市へ提案。
  - ・細野国有林において、林業専用道作設に係る支障木(98m<sup>3</sup>)を供給。
  - ・松原国有林において、森林整備による発生材(40m<sup>3</sup>)を供給予定。

### 【成果と今後の課題】

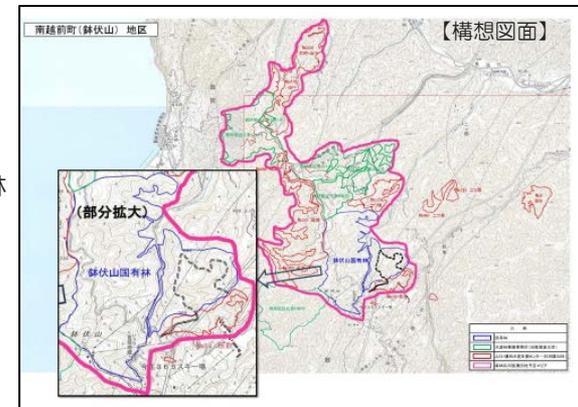
- ・ストックヤードへの木質バイオマスの納入実績の把握により、計画的な供給体制づくりを検討。
- ・間伐木等のA材~C材の有効活用を推進し、関係機関が連携して需要に応じた供給体制の検討を実施。
- ・一般競争入札による支障木等の販売は、供給先の用途の指定は不可能であるが、資源の有効利用のため、引き続き、支障木等の積極的な供給を予定。



(公的森林間伐材等安定供給協議会の様子)

## 森林共同施業団地の設定

- 【課題】鉢伏山国有林に隣接する民有林との森林共同施業団地の設定(継続)
- 【取組状況】
  - ・民国連携による森林整備を進めるための路網の構築にあたり、福井県所管の林業専用道(規格相当)の林道格上げに係る資料を作成し、災害時の復旧費用負担等のメリット等について情報提供を実施。
- 【成果と今後の課題】
  - ・福井県において既設林道専用道(規格相当)の格上げの検討が行われたが、格上げは見合わすこととなった。今後、既設林道専用道へ作業道を接続する方向で共同施業団地の設定を検討予定。
  - ・今後、福井県、福井水源林整備事務所の実務担当者レベルでの調整を予定。



## 林業技術の普及

【課題1】 民有林における列状間伐と作業道作設技術の普及（継続）

【取組状況】

・ 小河国有林において、福井県、関係市町、林業事業者等を対象に「列状間伐と森林作業道現地検討会」を実施。

【成果と今後の課題】

・ 森林作業道のカーブ箇所の路体補強、鉄板を利用した簡易橋、現地調達石と間伐材を利用した簡易暗渠等について説明を行い、林業事業者等の林業技術の向上に寄与。

・ 今後も林業技術の普及・向上に向けて現地検討会等の開催を予定。



（事業概要説明の様子）



（鉄板を利用した簡易橋施工の様子）

【課題2】 民有林への路網整備技術の普及（継続）

【取組状況】

・ 福井県と共催で「林業専用道路網検討会」を開催し、細野国有林内の林業専用道において、民有林行政機関、土木事業者等による現地検討及び検討結果について意見交換を実施。

【成果と今後の課題】

・ 民有林事業者関係者の林業専用道等の路網計画作業における知識・技術の向上に寄与。

・ 今後も路網整備技術の普及・向上に向けて関係機関と連携した検討会等を予定。



（現地検討の様子）



（班毎に路網検討を行う様子）

## 鳥獣被害対策の推進

【課題】 若狭流域におけるニホンジカの個体数管理（新規）

【取組状況】

・ 嶺南地域有害鳥獣対策協議会へ参画し、被害状況等の情報共有及び対策の検討を実施。

・ 嶺南地域有害鳥獣対策協議会の構成市町へニホンジカ捕獲装置の貸与について案内を実施。

貸与を希望する市町は無かったことから、福井森林管理署において捕獲装置（囲い罠）を設置し、委託契約によりニホンジカの捕獲を実施。

・ ニホンジカの被害・生息状況を把握するため、国有林野内において生息・被害調査を行い、関係機関等へ情報共有を実施。

【成果と今後の課題】

・ 囲い罠によりニホンジカを捕獲し、個体数管理に寄与。今後、更なる捕獲頭数の増加に向けた検討及び嶺南地域有害鳥獣対策協議会の構成市町での捕獲装置の活用を検討。

・ 国有林内におけるシカの目撃情報を収集し、今後、関係行政機関等との情報共有により効率的・効果的な有害鳥獣駆除対策を検討。



（囲い罠設置の様子）



（捕獲されたニホンジカの様子）

### ニホンジカ捕獲実績

		11月	12月	1月	2月	3月	計
捕獲頭数	オス	1		2		1	4
	メス		4				4
	計	1	4	2		1	8